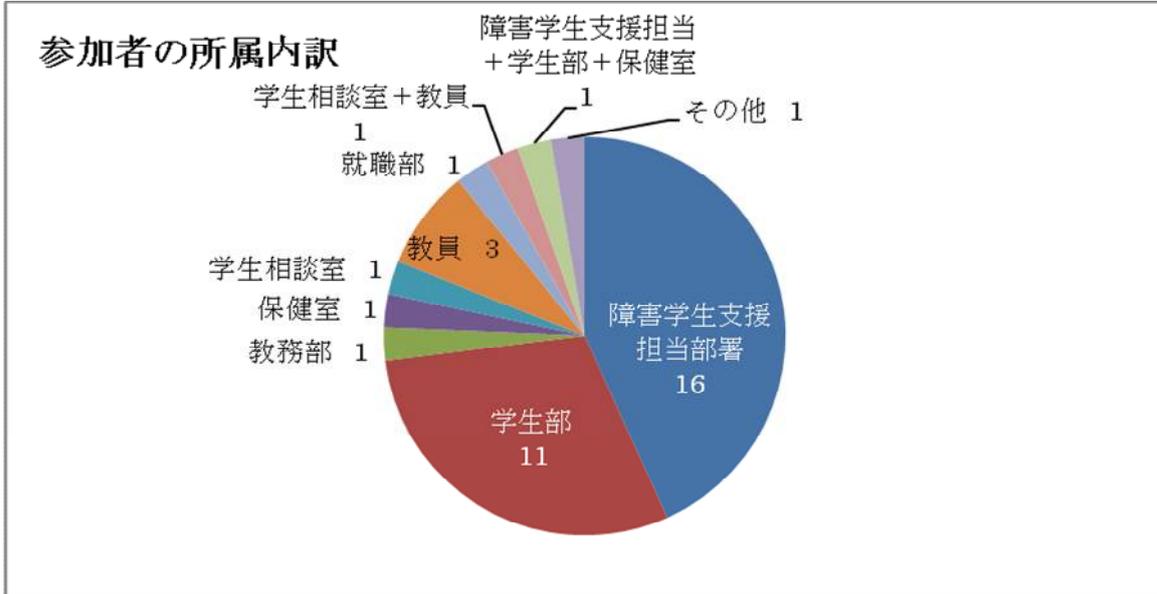


第 14 回関西障害学生支援担当者懇談会 アンケート集計結果

平成 27 年 2 月 5 日（木曜日） 佛教大学

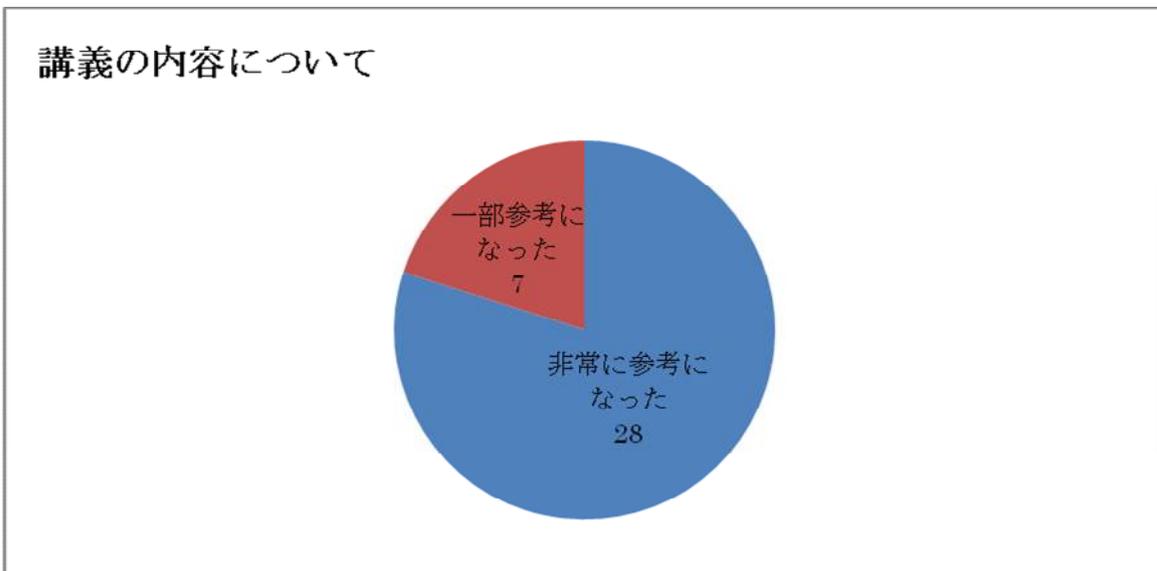
【有効回答数：35（参加者数 51 名）】

1. 参加者の所属内訳



2. 講演について

(1) 満足度



(2) 今後、講演で取りあげて欲しいテーマ（自由回答）

※各大学の取り組みについて 7 件

- ・ 障害者差別解消法施行で大学に求められているもの。
- ・ 学外実習における配慮のあり方について。
- ・ 本日のような各大学の取り組みの報告。
- ・ 大学内での支援、組織、体系、仕組み、連係について他大学の例を知りたい。
- ・ 大学内での支援の組織化の具体的な流れ等を取り上げていただきたい。相談室を設置したけれども、そこから先が進んでいないため、学生支援に集中できるところまで辿り着けていない。他大学がどのように相談室等の支援体制を整えて行ったのか、知る機会がほしい。
- ・ 教員に協力を仰ぐために必要なこと。ネットワークを作るための失敗、成功例。
- ・ 情報共有について。

※合理的配慮について 6 件

- ・ 合理的配慮の範囲について。特に精神の分野の事例を知りたい。
- ・ 合理的配慮を見すえた各大学の取り組みを紹介してほしい。
- ・ 合理的配慮について関心の低い教職員にどのように理解してもらうか。
- ・ 合理的配慮の難しい事例。
- ・ 合理的配慮について（2 件）。

※精神障害などの学生の支援について 1 件

- ・ 発達障害以外の精神疾患の学生への対応事例など。

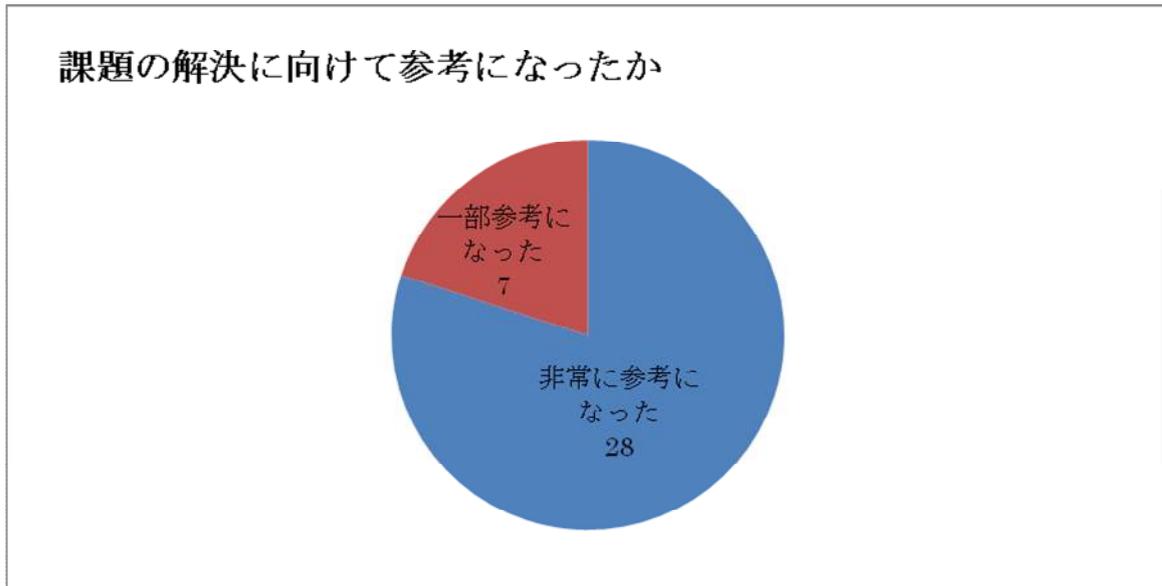
※発達障害学生の支援について 3 件

- ・ 発達障害学生の対応について（2 人）。
- ・ グループワークの方法（発達障害の人）。

※その他 6 件

- ・ 学生支援全体を視野に入れた課題。留学生の障害、隠れた障害、障害と事件事故など。
- ・ 通信制大学における障害支援。メディア授業における障害学生支援。
- ・ 学生の声（支援を受けて、支援に携わってなど）。
- ・ 聴覚に限らず、障害学生を支援するスタッフのスキルアップについて。
- ・ 高大連携と入学前の情報の取り方。
- ・ 障害学生の「卒業後」の意識付けについて。

3. 分科会は課題の解決に向けて参考になったか



4. その他 要望・感想等（自由意見）

【要望：要望への回答が欲しいというご意見がありました。以下、議論が十分でない部分もありますが、本会の方向性ということで、記載させていただきます。】

- ・障害学生支援担当部署だけでなく全体的に合理的配慮について議論する必要がある。そのためのSD/FD研修会にあたっての分科会を設けてほしい。 → 学内研修会のノウハウについての分科会は今後検討したいと思います。ただ、支援担当部署以外をどう巻き込むかについては、大学の事情も大きく影響するので、本会でどれほどお役に立つか心もとないものがあります。各大学の取り組みのご紹介などは進めていきたいと考えています。
- ・法制化、合理的配慮について関心の低い教職員にアピールできるようにわかりやすくまとめた資料があればと思う。特に発達障害、精神障害についての事例があればありがたい。 → 懇談会のMLでご案内しました『ここからはじめる障害学生支援』も一つの資料になると思います。残念ながら、発達障害、精神障害を含めた教員用の手軽な啓発・解説資料となるとまだ作成は難しいかもしれません（専門書はありますが、まず関心を持ってもらうという面で難しいようです）。
- ・見えない障害に対するピアサポートや当事者支援を学内でどう進めるか（場作り＋ファシリテーションなど）。 → 発達障害や精神障害、他の見えない（見えにくい）障害については、今後とも講演や分科会で取り上げていきたいと思っています。
- ・大学の理事長宛にも会の案内を出してほしい。 → 事務局まで、宛先等をご連絡ください。
- ・司会の方が、発言者がムラなく散らばるよう（発言のボリュームが偏らないよう）配慮してほしい。 → 出席者全員のご意見をうかがえるように進行には注意します。
- ・障害学生支援を全体的に取り組むためにどうすればいいか、皆さんとお話できればありがたい。 → 全体会や情報交換会をご利用ください。MLも情報発信だけではなく、“お話”のできるツールにで

きないか考えてみます。

- ・他大学の相談室や支援室の見学等もしてみたい。 → 会場校に支援室等の見学をお願いしております。学内諸事情によりできない場合もありますので、ご了承ください。
- ・もっと時間があってもよかった。 → いつもご指摘される事項です。参加者情報の事前配布などで、議論・意見交換の時間を多くとっているのですが、各大学問題山積の中、いくら時間があっても足りないということだと思います。ただ、1日使っただけというのは、皆さんの業務を考えると難しいものがあります。効率的な司会進行を心がけます。
- ・通信制大学のみ障害学生支援の情報交換会が開催されれば、是非とも参加したい。 → 今後も様々なグループやテーマ毎の分科会の開催や情報交換を行っていきたくと思います。
- ・講演会の資料をカラーにしてほしい。HPにアップされるデータに要望欄の記載内容も出ているが、それに対する回答も載せてほしい。 → 資料代等は世話人大学の持ち出しにて行っております。下記ご要望のような方法での解決は可能だと思いますが、ご参加皆様のご意見をうかがいながら考えていきます。
- ・会費制にされてはどうか（毎回の参加費ではなく年会費で）。 → 皆様のご意見をうかがいながら考えたいと思いますが、“気軽に誰でも参加できる会”は、変えたくありません。
- ・会場校は交通の便の良いところをお願いしたい。 → 開催場所については、交通の便を重要な要素と考えておりますが、様々な大学で開催したい（支援室を見学したい）、という世話人会の思いもあり、多少のご不便をおかけする場合もあるかと思っております。ご理解ください。
- ・障害者支援の各大学が定めた規定、教職員向け、学生向けパンフレットなどの提供をお願いしたい。 → 本会HPに“支援各種資料”をアップしています。これを充実させるため皆様方にも資料の提供をお願いしていきたくと思っております。

【感想】

- ・わきあいあいと話ができ、情報共有以上に気持ちの良い交流ができてよかった。
- ・もう少し分科会の時間があればと思った。
- ・皆、同じような悩みを持っているんだなというのを認識できてよかった。分科会内で、障害のある方の話が別角度の切り口になったので、今後も当事者と一緒に行くことは有意義だと思った。
- ・今回の分科会は非常に有意義で、とても勉強になった。自身が求めていた情報や事例をたくさん聞くことができ、今後自大学に持ち帰って活用したいと思う。ありがとうございました。
- ・様々な情報が得られた。ありがとうございました。
- ・職員だけでなく教員の意識・認識の向上に向けての、テーマや分科会なども今後できたらいいなと思った。
- ・分科会では色々な立場の方が支援を担っていること、考えていることを聞いて大変役に立った。
- ・懇談会で得た情報を大学に伝えたいと思う。
- ・普段はなかなかお話を聞きすることが出来ない皆さんの工夫されているところや奮闘されている様子を伺えてとても勉強になった。
- ・法整備に対応するためにも、教員、職員の意識を統一したいと考えている。
- ・時間が足りなかったのが残念。
- ・入学時の配慮情報が入学後の支援部署に伝わっていない、という大学が同じ分科会の中でも多かつ

たので、組織で支えるという意味で学内ガイドラインを作ることの大切さを認識した。

- ・学生の自立に向けた支援について、改めて考える機会となった。苦手なことから逃げるための言い訳が合理的配慮とならないよう、本来の意味の配慮、支援が必要であると思う。
- ・非常に参考になった。特に臨床心理士会については今後支援を行ううえで非常によい情報をいただいた。ありがとうございました。
- ・身体的な障害だけでなく精神的な障害に対するケアが必要となっており、支援が必要な幅が広がってきていると感じた。
- ・大変勉強になった。次回は、ロールプレイに是非参加させていただきたい。
- ・今後実践すべきヒントをたくさんいただいた。
- ・合理的配慮と入試、大学教育ガイドラインについて、各大学の取り組みを聞くことができ、イメージできた。
- ・たくさんのことを学ばせていただいた。提言後の実現に向けて取り入れたい。
- ・どこの大学においても同様の悩みを持っておられ、大学を越えての連携、協力も必要となってくるのではないかと思う。
- ・障害学生の支援はいかにケースを知っているかが重要であると改めて感じた。精神障害という点について、様々な視点から支援方法を考える大変重要な機会となった。ありがとうございました。

以上